

## 企画

### 8月6日那賀川の日 那賀川探検バスツアー

H29. 8. 6 流域内小学生

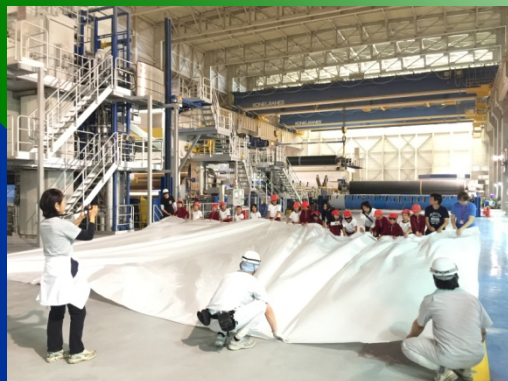
長安口ダム見学、川口ダム自然エネルギーミュージアム、堤防耐震工事現場見学、遊覧船



### 上流の子どもたちによる 下流域見学体験ツアー

H28. 5. 13 木頭小学校

NAKAなかキッズ交流事業（製紙工場、火力発電所）



# 平成28年度の取り組み実績

# 【発信】

## 発信

### 出前講座

- 28. 6. 7 大野小学校①
- 28. 10. 20 大野小学校②



H28. 10. 22 那賀高校



H28. 12. 8 阿南市下大野住民会

### 那賀川写真展

H29. 3. 15~H. 29. 3. 22  
徳島阿波おどり空港



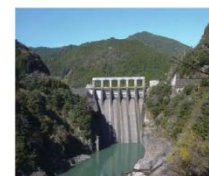
### 風土探訪マップ

第4号・第5号 発行に向けての編集作業

#### 第4章 長安口ダムと高磯山の崩壊

##### ◇長安口ダム

IV図B5  
本体・貯水池ともに徳島県最大



▲長安口ダム

那賀川の長安地先に洪水調節、発電、灌漑用水の補給を目的として昭和31年1月に建設された那賀川総合開発の一環をなす重力式コンクリートダムです。

##### 【那賀川コラム】

戻ってきたお栗師さん

IV図C2

高磯山崩壊にまつわる洪水伝説

高磯山が大宮郡とともに山崩れを起こし、荒谷、春森の65人の命を奪いました。15戸の人家を埋めた土砂は、対岸の春森の方までせり上がり、堰き止められた那賀川の水位はどんどん上がり、上流の平谷、大観から西ノ内まで水の被害をうけ、150戸余りの家が流失しました。平谷の栗師屋は水に浮き、逆流してくる水に上流の平谷の八幡社あたりまで流されましたが、高磯山の堰がはずれ水が引き始めると、栗師屋は引くに合わせて流れ、元の位置におさまると伝えられています。

2

##### ◇高磯山崩壊記念碑・慰霊之碑

IV図B3、IV図C4

天然ダムを形成した明治25年の大崩壊

つづら時は、高磯山の崩壊によって作られた土砂ダムの水位が、この峠にまで達し、被災者の救助の拠点となり救助の舟が行き来した場所、高磯山崩壊記念碑が建っています。この碑の台石が水位を示しています。また、対岸には高磯山崩壊から100周年を記念した高磯山崩壊慰霊之碑が建っています。



那賀川の風土を巡り訪ねる

第4号



ゆきかう那賀川推進会議

## 支援・連携

流域内の交流や地域おこしに取り組んでいる  
団体や人々の活動を支援

H28. 5. 8  
那賀川源流碑開き



H28. 10. 30  
那賀川源流コンサート  
四季美谷温泉前広場



H28. 11. 27  
那賀川流域センチュリーラン

